夕刊フジ「The情報源」のコーナーにて、当社運営「アイデアの城」が紹介されました。

夕刊フジ

発行所 ©産業経済新聞東京本社２０１７
〒100-8160 東京都千代田区大手町１-７-２
ＴＥＬ（０３）３２３１―７１１１大代表
＜昭和44年２月28日第３種郵便物認可＞
2017年（平成29年）
9月22日（金）
発行・２１日

The 情報源

今や〝クールジャパン〟の発信源〝となった感のある東京・秋葉原。そこに今、「アイデアの城」という新しいコンセプトの会議室が生まれ注目されている。

新形態貸し会議室 アイデアの城

殺風景な空間で何が生まれる？

館内は「王宮の魔法学校」（収容人数54人）と、「アリスのホワイトルーム」（同46人）の２タイプ。ともに60型４面マルチディスプレー、音響・無線ＬＡＮなど各種機材を装備し、好みの音楽も持ち込める

非日常空間で五感演出

「ビジネスはアイデアが大事」。そんなことは誰でもわかることだが、「はそのアイデアを生むために私たちは何を準備しているだろう。

「新しいこと、違ったことを生み出そうとする会議なのに、その場所が殺風景な空間だったら何が生まれるでしょう？ アップルなどの世界的企業はユニークな会議スペースを持っています。私たちは『夢を追求する』企業なので、同じように会議室を楽しい雰囲気に作ってきました。それが『アイデアの城』の事業につながったのです」と話すのは、同事業を昨年スタートさせたジー・プーン＝表＝の代表取締役・後藤稔行氏（49）＝顔写真＝。

百聞は一見にかず。秋葉原にある「アイデアの城」を見せてもらった。

独創性の高いアイデアを出す人の脳は前頭葉が活性化しており、それには「日常では触れることのない心地よい刺激」が必要という。「アイデアの城」は非日常空間に身を置くことで、五感演出を体感できるわけだ。

昨年6月のオープン以来、会議のほか各種セミナー、社内イベントなどさまざまに利用されている。ケータリングも用意しているので、2部制にして会議と懇親会を行うことも多いという。

利用する企業には〝誰もが知る〟ヒット商品のメーカーや大手銀行も名を連ねる。最初は興味本位で参加したところも、意外な効果にリピーターになる会社も多いそうだ。

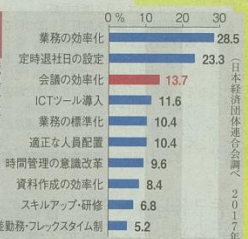
利用料金は１時間３万円（会員割引あり）。JR・つくばエキスプレス・東京メトロ「秋葉原」駅から徒歩１分（東京都千代田区神田佐久間町１の８の４ ニュー千代田ビル ５F）、申し込みは同社サイトでの会員登録から（http://idea-kaigi.zeeboon.jp/application/）

表 ジー・プーン株式会社

「ビジネスを通して、自分の夢を叶（かな）えよう!!」をモットーに後藤稔行（としゆき）氏が2006年創業。IT・アジアマーケット（タイに現地法人）・写真・動画などの事業を融合した形でレンタルスペース「アイデアの城」を東京・秋葉原に昨年開設。社員の夢を実現させることにも積極的で、社内でのキャリアプランの定期チェックや「ドリームデザインセミナー」の開催などで社員間の相互支援を進めている。

本社・東京都千代田区
http://www.zeeboon.co.jp/

グラフ 職場慣行の改善策



職場慣行の改善には「会議の効率化」が常に上位に入る。しかし重要なのはその内容だろう

クールジャパン中心地の秋葉原で

ターゲットは中小企業

同社は後藤社長が「夢」と「ビジネス」の融合を形にする「日本初のドリーム企業」を標榜（ひょうぼう）している。現在は大企業向けのITソリューションを事業にしているが、今年からは本格的に中小企業向け事業もスタート。IT・アジアマーケット・写真・動画などの事業を柱に展開するなかで、それらが一体となった形で「アイデアの城」が実現した。

「ここを本当に利用していただきたいのは、中小企業のみなさんです。アイデアの重要性を知っていても、このような施設を持つのは経済的に難しい。そうした企業が気軽に使えるようになれば、斬新なアイデアがここから生まれ、この国の未来が開けるかもしれません」（後藤社長）

たしかに秋葉原は今、〝クールジャパン〟の中心地だ。世界に通用するコンテンツづくりは国家的戦略でもある。それを担う民間企業の大多数は中小企業。利用しない手はないというわけだ。この地に「アイデアの城」が生まれたのもうなずける。

「アンティークとファンタジーは、夢を感じるにふさわしい環境だと思います。『こんな場所で会議をすれば豊かな発想力がつく』との利用者の声も聞かれます。今後もソフト面の充実をさらに図っていくつもりです」（後藤社長）

こうした「アイデアの城」の考え方は、会議もさることながら、さまざまなアイデアを出す場面においても大いに参考になるはずだ。あなたの会社の会議室にも、何か1つ、非日常的〝なアイテムや趣向を加えるだけで、これまでとは違った結果が出てくるのではないだろうか。新しい〝アイデアの時代〟が幕を開けようとしているようだ。

アンティーク ファンタジー 夢

２室とも使い方は自由。〝非日常の空間〟でどれだけアイデアを生み出せるか、企画力も重要だ

女性に人気が高いのは、写真を撮ってSNSにもアップできるため。最近では〝インスタ映え〟へのフォトジェニック需要が高まり、ビジネスチャンスになってきている

隣室の「Yumebi」でグッズの購入やコスプレ用衣装を選べる。写真中央はオブジェのアイデア天使「知恵ちゃん」